



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

エージシュート

補綴歯科 診療科長 岩佐 文則

厚生労働省が2019年に公表した日本人の平均寿命は男性が81.25歳、女性が87.32歳となり世界一の長寿国になっていることは皆さんもご存知だと思います。その中で100歳を超える人口は7万人を突破し、お元気で人生の後半を楽しんでおられる高齢者をあちこちでお見かけします。

先日非常に印象的な4人の高齢者に出会いました。新型コロナの自粛が解除され、久しぶりにゴルフに出かけた時のことです。プレーをしているとキャディーさんが呟きました。「前の組にどんどん離されていきますね」。気にして前の組を見ると高齢者の4人組が少しぎこちないですが黙々と前進していくのが見えます。それを見てキャディーさんが教えてくれました。4人のうち2人は90歳代の方で、残り2人も80歳代とのこと。皆さん毎週いましてエージシュート*を目指して一日中歩いてゴルフをするそうです。4人を見ていて、そのきびきびとプレーしている様子は50代半ばの私よりはるかに若く感じられました。特に印象的だったのは、道具の進歩なのかしっかりとスイングをしていたこと、そして今流行りの距離測定器を覗き込んだり、コースのデジタル情報が入った機器を駆使して楽しんでいたことです。一方ではチクリと「いろいろ便利だけどやっぱり腕だよ」というような声も聞こえてきました。

確かに便利で昨今のコロナ事情を顧みても時代はデジタル化へと進んでいます。もちろん歯科も例外ではありません。特に臨床では私が卒業した30年前では夢のようだった治療が今では現実に行えるようになってきました。私もこれまでの臨

床経験とデジタル治療をうまくミックスしながら診療にあたっていますが、コンピューターを駆使した確実により質の高い治療、患者さんに負担をかけない治療がもうそこまで来ていることは間違いありません。



しかし、現状のデジタル技術によって失いかねないものも存在します。デジタルが新しい技術とすれば、我々が培った古い時代の経験や技術、それらから築き上げたもの作りに対するクオリティーです。これらをデジタル治療と上手く融合させ、歯科治療の精度をさらに上げていくことがこれからの私たちに課せられた使命であり、次世代への継承と責任であると思います。80歳代、90歳代のゴルファーが言うように、便利になってもそれを使いこなすのは我々人間です。研究成果の発信や治療技術の向上はもちろんですが、デジタル世代とともに”患者さんの立場に立った医療”を忘れず、”質の高い医療人”を目指してこれからも日々精進してまいります。

*エージシュート(Age-shooting)とは・・・

ゴルフの18ホールを自分の年齢以下の打数で終えること



デジタル技術による歯型取り

私たち補綴歯科は、冠橋義歯(かぶせものやブリッジ)、有床義歯(入れ歯)といった「補綴治療(歯が欠けたりなくなった場合にかぶせものや入れ歯などの人工物で補うこと)」についての全領域の研究・臨床・教育業務を担う部署です。顎関節症治療科、インプラントセンターといった診療部門についてもその一翼を担っており、国内でも数少ない補綴系が統合された診療科です。

補綴歯科の外来は、日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会、日本顎関節学会の指導医・専門医で構成される診療スタッフを中心に、大学院生や研修医の臨床教育を担うチーム診療制を採用しています。冠橋義歯、有床義歯、インプラントを包括する補綴系総合診療科であるメリットを最大限生かし、それぞれの専門性を維持しつつ、高度で先進的な欠損歯列患者のトータルケアを行えることが強みです。

私たちは“持続的な「変化」と「進歩」”をモットーとし、基盤となる治療技術を高いレベルで提供することを目標としています。世界に目を向けると、患者ニーズに対応した新たな技術が日々開発されておりますが、これらについても積極的に取り入れ常に最先端の医療を提供できる環境を整備しなければなりません。

現在、私たちの臨床で力を入れている臨床技術としてインプラント・オーバーデンチャー(Implant Overdenture: IOD)やインプラント・アシステッド・パシャルデンチャー(Implant Assisted Removable Partial Denture: IA-RPD)が挙げられます。

従来のように入れ歯かインプラントのいずれかを選択するのではなく、最小限の本数のインプラントを入れ歯に組み込み、通常の入れ歯より安定して動きづらい入れ歯を提供する治療法で、新たなインプラントの利用法としてインプラント普及へのブレークスルーとなり、更に多くの患者さんがインプラントの恩恵を享受できるのではないかと期待しています。

また、デジタル歯科分野にも力を注いでおり、広く臨床に普及したかぶせものやブリッジのコンピューター製作だけではなく、光学印象装置(三次元カメラで型どりを行う装置)の導入やデジタル化が進んでいない入れ歯の分野におけるデジタル技術の開発も行っています。

このような最新技術の臨床応用・臨床普及を通じて、すべての欠損補綴患者さんが「最小の負担で最高のテーラーメイド治療」を受けられる補綴専門診療科となることが私たちに課せられた使命であることを胸に刻み、日々の臨床に取り組んでいます。

(ホームページ、<http://prostho.showa-u.ac.jp>)。

ジルコニアクラウン・ブリッジ



補綴歯科スタッフ

当科は、昭和大学歯科病院宛の紹介状(特定の診療科宛の紹介状を除く)をお持ちの全ての患者さんを拝見し、一般歯科治療から、抜歯、小手術に至るまでの歯科口腔の包括的治療を懇切丁寧に対応いたします。必要に応じて院内専門各科、昭和大学病院専門各科にも協力を求め、患者さんに最適・最良の治療を提供するように努めます。

初診時には患者さんの全身状態を把握し、安心・安全に診療を行うため、医療面接が長時間になる場合もあります。必要に応じて、かかりつけ医と診療情報連携共有を行います。すぐに歯科治療を行えない場合もあります。

1) 全身的な病気をお持ちの方

高血圧症などの循環器疾患、糖尿病、腎不全、脳卒中、呼吸器疾患など地域の歯科医院では治療が難しい方々を、かかりつけ医・歯科麻酔科と連携し、全身的なリスク評価を行い、血圧、脈拍、パルスオキシメーター、心電図などをモニターしながら安全に治療いたします。

2) 歯科恐怖症の方

歯科と聞いただけで冷や汗が出る方、口腔内に治療器具が入っただけで嘔気反射になってしまう方など、治療前に歯科治療に対する詳細な問診を行い、適した治療法を提案しています。歯科麻酔科と連携して、静脈内鎮静法や静脈麻酔を併用して治療を行い、徐々に歯科治療に慣れていくような、段階的な治療を行っています。静脈内鎮静法や静脈麻酔を併用しても、治療が困難な場合や、長期間の治療が予想される場合は、全身麻酔下にて集中的に治療を行う場合もあります。

3) 抗がん剤・骨吸収抑制薬使用中の方

がん薬物療法(抗がん剤・分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬)や骨吸収抑制薬(ビスフォスフォネート製剤・デノスマブなど)を使用中の

患者さんでは、口腔粘膜炎や薬剤関連顎骨壊死などの副作用が生じることがあります。かかりつけ医療機関と連携して、上記薬剤使用前から、積極的に口腔機能管理を行って薬剤を開始する方が得策です。口腔粘膜炎や薬剤関連顎骨壊死が生じた患者さんにも、各々の患者さんに合った治療を行っています。さらに昭和大学各附属病院と連携して、全身麻酔手術前・がん放射線治療・抗がん剤治療・緩和医療期などの口腔機能管理も積極的に行っております。



医療面接の様子
全身的なリスク評価を行うため、歯科ユニット上での血圧計やパルスオキシメーターを、装着しながら医療面接を行います。



静脈内鎮静法による治療の様子

部署紹介:栄養科

2019年4月より調理業務委託から完全直営業務に移行しました。栄養科事務所は地下1階、調理室は2階にあります。

現在、＜常食＞・＜キザミ食＞・＜ソフト食＞・＜流動食(経口/経管)＞の5種類の食事が基本形態で提供しています。手術目的のため日帰り～2泊3日という短期間入院が大半を占めています。食事の回数も2～5食程度です。患者さんの入院期間や生鮮食品のフードロス対策を考慮し、28日から7日間の献立サイクルにしました。今年度から2020年版日本人の摂取基準改定に伴い献立内容の見直しを行いました。

現在退院後及び外来患者さんの食事面(栄養面)でのフォローする機会が少ないことが課題としてあげられます。今後は各診療科の歯科医師、看護師、コメディカルと相談の上機会を増やしていきたいと思っております。

高齢者及び、治療中で食事摂取不足により体重減少がみられるなど食事に関してお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

栄養科 長谷部 茂美



常食



キザミ食



ソフト食



流動経口食

ご挨拶



本年度、放射線技術室の責任者として配属になった武俊夫と申します。歯科領域は初めての経験となり、わからないことばかりで日々勉強と考えております。異動早々には、新型コロナ肺炎の感染対策に追われる日々となっております。

放射線技術室としては歯科病院の各診療科、地域歯科医院からのご要望にお応えできるように努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

放射線技術室 武 俊夫



令和2年4月1日より、横浜市北部病院より昭和大学歯科病院事務課医事係に異動してまいりました渡部 弘紀(ワタナベ ヒロキ)と申します。これまで医事係として“医科”について十分な経験を積んでまいりましたが、“歯科”についての知識は一般の方と同じレベルだと思います。これまでの経験を活かし、一刻も早く皆様の力になれるよう精進してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務課医事係 渡部 弘紀

編集後記

新型コロナウイルスへの不安が残る今日このごろですが、当院では万全の感染対策を期して患者さんに安心して受診していただけるよう努めております。色々ご不便をおかけいたしますがご理解、ご協力のほどお願いいたします。湿度も上がり暑さも本格的になってまいりました。どうぞ熱中症、夏バテにも十分お気を付けください。

(M.S)



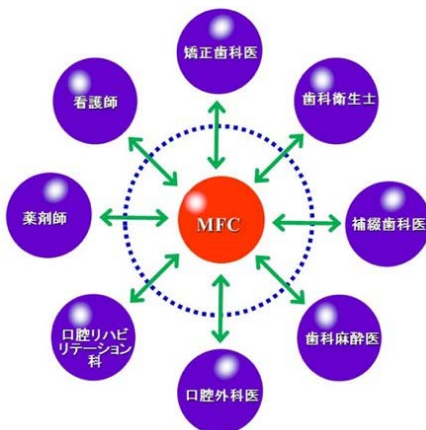
1. 顎変形症とは

一般に、下顎が前に出ている、あごが小さいなどの理由で、歯のかみ合わせがずれてしまっているような場合は、「顎変形症」と診断される可能性があります。このような病気の原因には、さまざまなものがありますが、かみ合わせがずれていれぱうまくかめない、しゃべりづらい、食べ物の消化が悪いなどの障害がおきます。歯やかみ合わせの調子が悪くなると美味しい食事を楽しむこともできません。また、顔のゆがみに関しても悩まれているかもしれません。顎変形症の治療は、このような障害や悩みを改善し、患者さんのQOLを向上させることを目的としています。

2. 昭和大学歯科病院顎変形症専門外来の設置

2020年4月より、当院では顎変形症専門外来を設置いたしました。顎変形症の治療は口腔外科、矯正歯科をはじめとする多くの診療科とのチーム医療が必須です。

当院では、これらどの領域においても専門家を有しており、定期的にカンファランス: Maxillofacial Conference (MFC)を行い、手術のみならず、お口の健康管理、入院中の痛みや栄養管理、さらに看護体制について患者さん毎に検討を行っております。顎変形症専門外来は、ひとりひとりの患者さんへの診療をより充実させることを目的に設置する運びとなりました。また、顎変形症専門外来のホームページ(<https://www.showa-mfc.jp/>)も開設いたしましたので、診療の詳細についてはこちらをご覧くださいませ。

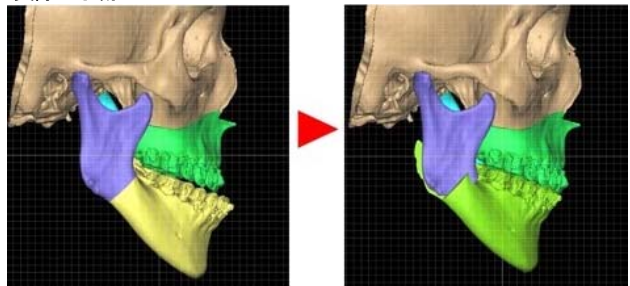


3. 当院における顎変形症の手術の特徴

当院では、より安全で正確な手術を行うために、手術前にCTで撮影したデータを分析して、あごの形、歯ならび、あるいはかみ合わせの状態などを正確に診断し、詳細に手術のシミュレーションを行っております。また、最近では技術の進歩により、人体の中の細かい位置情報を手術中に正確に把握することができるナビゲーション手術が開発されました。このナビゲーション手術は、術前のCTやMRI画像を表示したモニター上に手術をしている位置情報をリアルタイムに確認することができるため、安全で正確な手術を行うことができます。

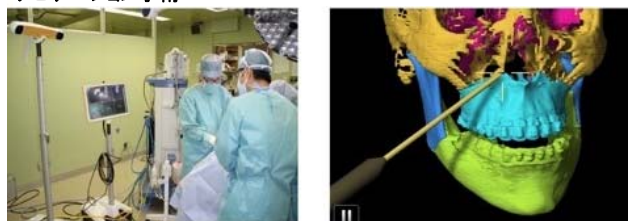
当院ではこの手術用ナビゲーションシステムを導入し、顎変形症の手術に応用しています。これにより、術前のシミュレーションに一致した手術を行うことが可能となっています。

実際の手術シミュレーション



顎の骨を手術にて、後ろに移動させかみ合わせの改善を行います。

ナビゲーション手術



手術中にモニター上でリアルタイムに位置確認ができます。

昭和大学歯科病院顎変形症専門外来では、私達のデジタルソリューションを最大限に活用し、患者さんに心身の健康と豊かな生活を獲得するために、ひとりひとりのニーズにあわせた診療と安全で正確な手術を行うよう努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

当院へのご支援の御礼

事務課管理係 山崎 大輔

新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に対して、多くの皆様から労いのお言葉や心温まるご支援を頂戴しております。当院職員一同、温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

現在、当院では歯科医師・医師・歯科衛生士・看護師のほか、多くの職員が治療や院内感染防止に丸となって取り組んでおります。今後も私たちは皆さまからのご支援を力に変え、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。



ご支援、有難うございます

■ご支援いただいた内容

マスク、フェイスシールド、ガウン、飲料・お菓子、電池

■ご支援くださった方々

【一般の方】

原 裕 様(当院関係者)
飯塚 翔 様、飯塚 勇介 様のご家族
劉 様(患者様ご家族)
保坂 様(患者様ご家族)
桑澤 実希 様(当院職員)



ご支援の一部です

【企業・団体】

株式会社ベテル 様
株式会社プロシード 様
医療法人社団順養会 海老原病院
理事長 海老原 爲博 様
戸田建設株式会社 様
株式会社ジャニーズ事務所 様
ULTRADENT JAPAN株式会社 様
株式会社豊田自動織機 様
こころしながわなかのぶ保育園 様
株式会社ウイン・インターナショナル 様
昭友商事株式会社 様
株式会社日立製作所 様
セイコーホールディングス株式会社 様
株式会社ファーストリテイリング 様
ジャニーズグループ Smile Up! Project 様
サッポロビール株式会社 様
クオール株式会社 様
株式会社ビラハウジング 様

(令和2年7月27日現在)



皆さまのご支援に感謝いたします